

2017年6月16日

三菱一号館美術館2017-2018展覧会スケジュールのお知らせ



アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
《ムーラン・ルーシュの女道化師》
1897年 多色刷りリトグラフ
アムステルダム、ファン・ゴッホ美術館蔵

パリ♥グラフィック

—ロートレックとアートになった版画・ポスター 展

2017年10月18日(水)～2018年1月8日(月・祝)

主催：三菱一号館美術館、アムステルダム、ファン・ゴッホ美術館
朝日新聞社

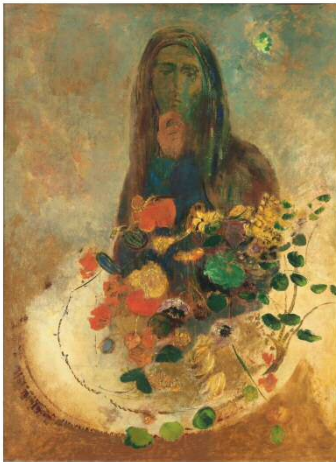
19世紀末のパリ、それまで単に複製や情報伝達のための手段でしかなかった版画は、トゥールーズ=ロートレックや前衛芸術家たちにより、絵画と同じく芸術の域まで高められ、それらを収集する愛好家も出現しました。一方、大衆文化とともに発展したポスター芸術をはじめ、かつてないほど多くの複製イメージが都市に溢れ、芸術は人々の暮らしにまで浸透しました。

本展は、世紀末芸術家たちの実験的な精神による、版画の多様な広がりを検証するものです。当館およびアムステルダム、ファン・ゴッホ美術館の貴重な版画コレクションから、リトグラフ・ポスター等を中心に、油彩・挿絵本等を加えた計約140点を展覧します。

ルドンの植物誌 展(仮)

2018年2月8日(木)～5月20日(日)

主催：三菱一号館美術館



Odilon Redon
Mystery, ca. 1910, oil on canvas, 73X54cm.
The Phillips Collection.

オディロン・ルドン(1840-1916年)は、印象派の画家たちと同世代でありながら、幻想的な内面世界に目を向け、その特異な画業は、今も世界中の人の心を魅了して止みません。なかでも本展は植物に焦点を絞った、前例のない展覧会です。

当館が所蔵する《グラン・ブーケ(大きな花束)》は史上最大級のパステル画で、ドムシー男爵の城館の食堂を飾る装飾の中心として構想されました。本展では、同食堂の残りの15点の壁画(オルセー美術館所蔵)と合わせ一堂に会する、貴重な機会となります。また、出品作およそ90点のうち大半は、オルセー美術館、ボルドー美術館、プティ=パレ美術館(パリ)、ニューヨーク近代美術館、シカゴ美術館、フィリップス・コレクションなど海外の主要美術館の所蔵作品により構成する、大規模なルドン展となります。

ショーム展

—パリのティアラ、ジュエリーの魅力(仮)

2018年6月20日(水)～9月17日(月・祝)(予定)

主催：三菱一号館美術館



François-Regnault NITOT, Ear of Wheat Tiara.
Gold, silver and diamonds, ca.1811, 6.5 cmX15 cm
Collection Chaumet Paris
© Chaumet - Nils Herrmann

ヴァンドーム広場に軒を連ねる「パリ五大宝飾店」の代表格であるショームは、1780年に創立された老舗メゾンです。ナポレオンI世と皇妃ジョゼフィーヌ御用達のジュエラーとして、上流階級の女性を中心にヨーロッパ各国で人気を博し、儀礼や社交の場で権力の証として着用されてきました。

本展は、ルーヴル美術館名誉館長アンリ・ロワレット氏監修の下、18世紀後半から現代まで、約240年に及ぶショームの伝統と歴史を紹介する日本初の展覧会です。ロマン主義、ジャポニスム、アール・デコといった芸術潮流との対話の中で洗練された作品—ダイヤモンドのティアラやネックレス等の宝飾品と、未発表の素描や古写真等約300点を展覧します。

※展覧会のタイトル・会期・内容等は2017年6月時点のものであり、今後変更になることもあります。最新の情報は美術館サイト(<http://mimt.jp>)をご確認ください。

(Dynamic Harmonyについて)「あらゆるものをダイナミックに調和させ、新たな価値を生み出す街」丸の内。それは、私たち三菱地所が世界に発信する街のあり方です。